

1回の採血で、複数のがんのリスクを評価！

アミノインデックス がんリスクスクリーニング (AICS)

- 血液を用いた、がんリスクスクリーニング検査です。
人間ドックや健康診断など、採血を行う機会と同時に検査を行うことができます。
- 1回の採血で、複数のがん種についてリスクを評価することができます。
検査の結果は、それぞれのがん種ごとに報告します。
- 早期のがんや幅広い組織型にも対応した検査です。

AICSとは？

健常者における血液中のアミノ酸濃度は、それぞれ一定に保たれるようにコントロールされていますが、がん患者では、一定に保たれている血液中のアミノ酸濃度のバランスが変化することが報告されています。AICSは血液中のアミノ酸濃度を測定し、健常人と、がん患者のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、現在がん罹患しているリスクを評価する検査です。

AICSの解析対象となるがん種

男性(5種): 胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん

女性(6種): 胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮・卵巣がん※

※子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。いずれかのがんであるリスクについて評価することはできませんが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません。

AICS値とランク分類におけるリスクについて

AICSは、それぞれのがんについて、現在がんである確率を0.0～10.0の数値(AICS値)で報告します。リスクの傾向は数値が高いほど、がんである確率が高くなります。また、このAICS値からリスクを判断する目安として、「ランクA」「ランクB」「ランクC」に分類され、がんであるリスクの傾向が3段階で示されます。「ランクA」よりも「ランクB」、「ランクB」よりも「ランクC」が、がんであるリスクが高いという評価になります。

低い ← がんであるリスク → 高い

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0

AICS受診前の注意

血液中のアミノ酸バランスに影響を与える恐れがありますので、受診前に下記の注意事項をお守りください。

- ・ 検査のための採血は、食事後8時間以上あけ、午前中に受診してください。
- ・ アミノ酸のサプリメント、アミノ酸含有スポーツ飲料、アミノ酸製剤、牛乳・ジュースなども食事と同様にお控えください。
- ・ 妊娠されている場合、AICS値に影響がありますので検査は受けられません。

AICSについてよくある質問

Q1: AICSを受ければ、他のがん検診は受けなくても大丈夫ですか？

A1: 検査にはそれぞれに長所と短所があり、補いあって使用されています。AICSはこれまでのがん検診とは異なる全く新しい角度からがんの可能性を見つけ出す方法で、併用することでがんを見つけだせる可能性は高くなります。その他の検診項目も受けるかどうかは医師にご相談ください。

Q2: いっしょに他のがんも見つけれないのですか？

A2: 今回のがん以外のがん種に関しては、現在も研究が続いています。また、他の疾患に関しても研究が行なわれています。

Q3: 検査前にすでに症状があった場合には、どうしたらいいですか。

A3: 検診は、症状のない方のための検査です。明らかな症状のある方には、それぞれの体の状態に応じた適切な検査や治療が必要になります。症状のある場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

Q4: AICSはどのような人が対象となる検査ですか？

A4: AICSは、胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がんは25歳～90歳、前立腺がんは40歳～90歳、子宮がん・卵巣がんは20歳～80歳の日本人（妊娠されている方を除く）を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS値は評価対象外となります。

ご予約・検査に関するお問合せ



医療法人徳洲会

岸和田徳洲会病院

〒596-8522 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1

健康管理センター TEL: 072-445-9908